

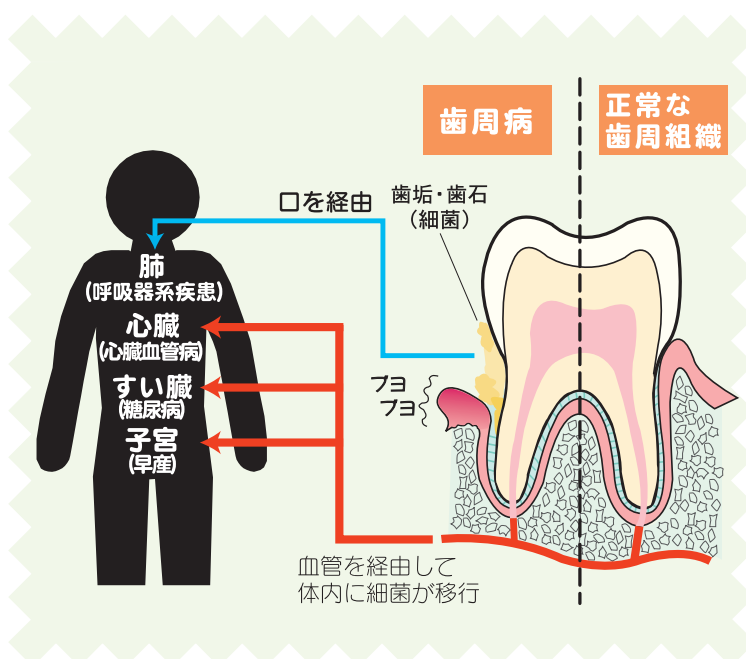
## 歯周病と全身疾患の深いかわり

歯周病の患者さんは、歯周病でない患者さんに比べ致命的な心臓発作を起こす危険が約2.8倍、早産の確率が7.5倍高いということが、最近のアメリカの研究などでわかってきました。日本人の成人の約85%は何らかの歯周病に感染しているといわれています。歯についての歯垢は細菌のかたまりです。歯垢1ミリグラムの中に約1～2億個の細菌やうみが含まれており、私たちはそれを毎日飲み込んでいることとなります。

### 細菌は口や血管から体内に侵入する

中、重度の歯周病になっている妊婦は早産（2500g以下の低体重出産）の危険が7.5倍も高いです。しかも歯周病は、飲酒や喫煙よりリスクが高く、早産の最大の危険因子と判明。歯周病を治すことで18%の早産が予防できると発表されました。また糖尿病の患者さんは以前から歯周病になりやすいことは知られていましたが、最近

は逆に歯周病があると糖尿病の血糖値のコントロールが難しくなるとわかりました。したがって、歯周病を治療すれば血糖値が下がり、糖尿病がよくなっていくという好結果につながります。また、肺炎やぜんそく等の呼吸器疾患にも歯周病がかかわっていることがわかってきました。



(M. G. Newman UCLA教授/F. A. Scannapieco ニューヨーク州立大教授/B. L. Mealey USAF歯周病主任らの発表による)

### 半年に一度は歯周病のチェックを受けましょう。

まずは、患者さんご自身のお口の中の細菌を減らすことがなにより肝心です。そのためには食後の正しいブラッシングが不可欠です。

初期の歯周病は自覚症状が無く、知らない間に進行してしまいます。また、根の深いところについていた歯石は自分ではとれません。歯科医院でしかできない治療がありますので、お気軽に「歯周病の検査をしてほしいのですが」と、歯医者さんに声をかけ、正しいアドバイスを受けましょう。

心臓発作が2.8倍  
早産の確率が7.5倍

# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

2011年  
月号

本年もよろしくお祈りします。

寒い日が続く、新年早々お疲れの方も多いかと思いますが、ご自愛下さい。

さて、『アンチ・エイジング』という言葉をお聞きになる事も多いかと思いますが、つい、美容とかエステティック、さらには、外科的な薬剤の注入、美容整形などまで紹介される事が多々あります。私の考えでは、やはり、年相応より少し若く見えるくらいが丁度良いのでは... と思ったりします。

意外に語られていないのが、歯についてだと思います。前歯について見てみれば、もちろんご自分の健康な歯である事が一番ですが、治療の時期が違うため、色、形が不揃いであったり、治療した時に比べて歯ぐきが下がったため歯根が出てしまい、そこが黒く見えてしまいます。保険内治療でも、かなり審美的な治療も当院では目指しております。詳しくは、スタッフにおたずねください。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日  
変更の  
お知らせ

- ・12月30日(木)～1月6日(木)年末年始休診
- ・1月22日(土)院内メンテナンスのため午後休診予定

こみや歯科

03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」<https://dn2.dent-sys.net/komiya>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail [dental@wahaha.gr.jp](mailto:dental@wahaha.gr.jp)